

平成28年度に樹立・策定する利根下流森林計画区の概要

1 森林計画区の概要



赤城山から望む赤城大沼(赤城山風致探勝林)(前橋市)

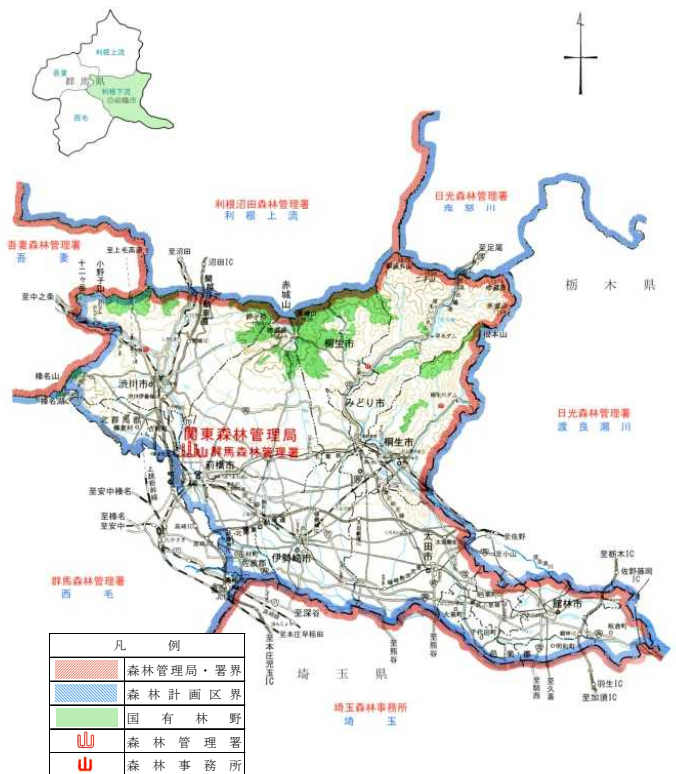
ア 位置

当計画区は、群馬県の中央部から東部に位置し、前橋市、桐生市、渋川市、みどり市の4市に所在する国有林11千haが計画の対象です。

イ 国有林の特徴

- 当計画区における水源かん養保安林等の保安林は国有林野面積の7割を占め、下流域の生活用水や農業用水などの水源地として重要な役割を担っています。
- 当計画区の赤城山周辺の国有林は、豊かな自然景観を背景に、県の自然環境保全地域に指定されているほか、シオジ、ツガ等の林木遺伝資源保存林を1箇所設定し、その維持・保全に努めています。
- また、北部の赤城山周辺に、登山、ハイキング等保健休養の場として、レクリエーションの森を4箇所設定し、多くの人々に利用されています。
- 国民参加による森林づくりの場として、NPO等による自主的な森林整備活動を行うフィールドを2箇所設定し、技術支援等に努めています。

利根下流森林計画区の国有林野位置図



ウ 森林資源の状況

人工林面積は6千ha、天然林面積は4千haです。人工林(面積割合)は主に、スギ(38%)、ヒノキ(24%)、カラマツ(17%)で、21~40年生が34%、41年生以上が61%となっており、資源の充実とともに利用期を迎えた林分が多くあります。

天然林は、ミズナラ、コナラ、クリなどが生育しています。

2 現行計画の概要

ア 保護林

林木遺伝資源保存林	1箇所	21ha
-----------	-----	------

イ レクリエーションの森

森林スポーツ林	2箇所	200ha
風景林	1箇所	102ha
風致探勝林	1箇所	98ha

ウ 国民参加の^{もり}森林づくり

社会貢献の森	1箇所	1,299ha
多様な活動の森	1箇所	44ha



多様な活動の森における活動の様子(渋川市)

エ 伐採・保育事業量

主伐	40千m ³
間伐	127千m ³
人工造林	122ha
天然更新	14ha
下刈	552ha
つる切	74ha
除伐	155ha



高性能林業機械による低コスト集材(渋川市)

オ 林道等の事業量

林道等開設	28路線	40,630m
林道改良	20路線	640m

カ 治山の事業量

保安林の整備	538ha
保全施設	58箇所



下流への土砂の流出を防ぐ治山事業(桐生市)

3 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ、公益重視の管理経営の一層の推進に取り組むほか、我が国の森林・林業再生への貢献として、民有林と連携した施業、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。

このような、基本的な考え方に基づき、当計画区において以下の取組を推進します。

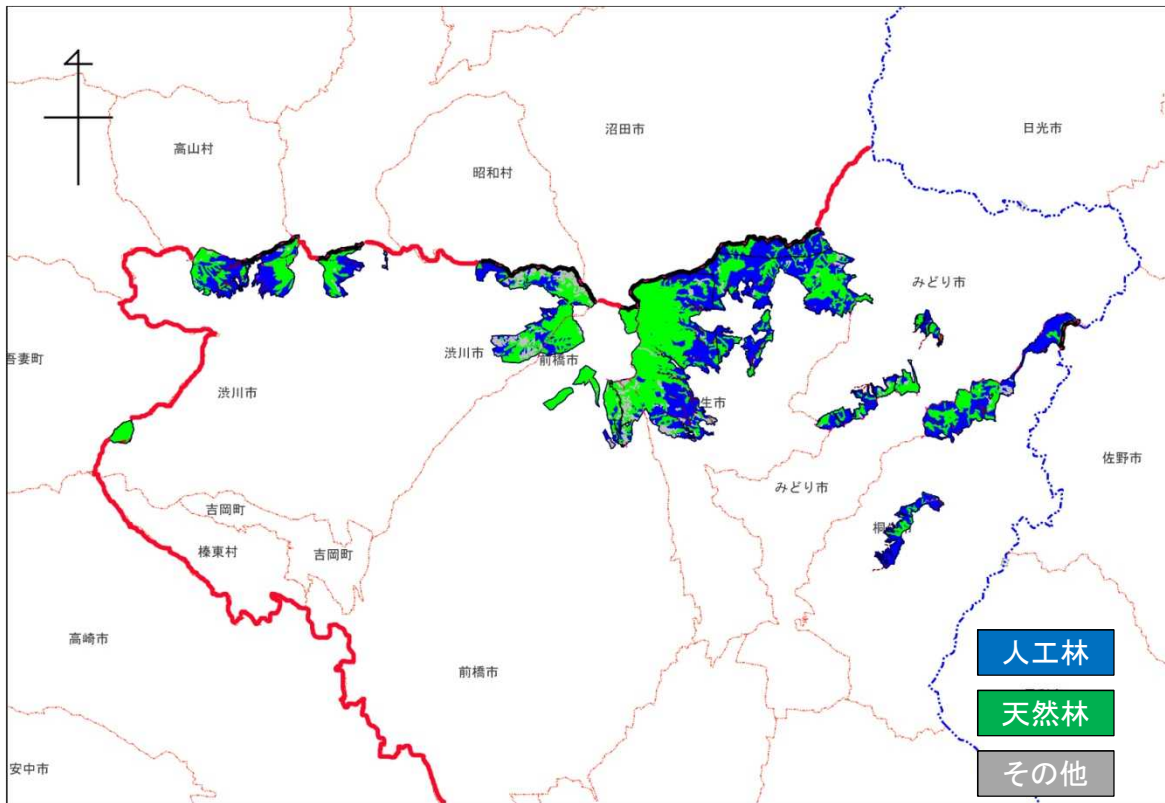
- (1) 森林の持つ公益的機能をより一層発揮するため、針広混交林化、複層林化など多様な森林づくりを推進します。
- (2) 地球温暖化防止に貢献する森林吸収量の確保のため、着実な間伐の実施に加え、主伐と主伐後の効率的な再造林等に積極的に取り組みます。
- (3) 生物多様性保全へ貢献するため、関係行政機関等と連携しつつ、森林生態系の保全・管理や溪畔林再生の取組を推進します。
- (4) 民有林と連携して施業を行う森林共同施業団地の設定や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで高効率な作業システムの普及などを通して、森林・林業の再生に取り組みます。
- (5) 林産物の供給等を通じて、地域の川上・川中・川下の関係者との連携を強化し、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。
- (6) 「国民の森林」として、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等を支援します。
- (7) ニホンジカやツキノワグマによる剥皮等の被害について、関係機関と連携し、被害防止対策等を進めます。

(参考1) 森林資源の現況

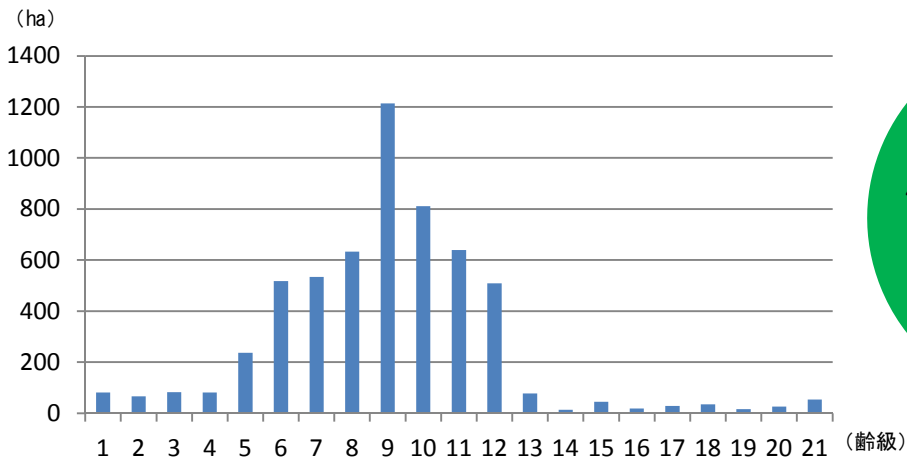
○市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A(%)	国有林率 E=C/B(%)
前橋市	31,164	7,413	987	24	13
桐生市	27,457	19,878	6,268	72	32
渋川市	24,042	12,723	2,600	53	20
みどり市	20,823	16,682	713	80	4
計	103,486	56,696	10,567	55	19

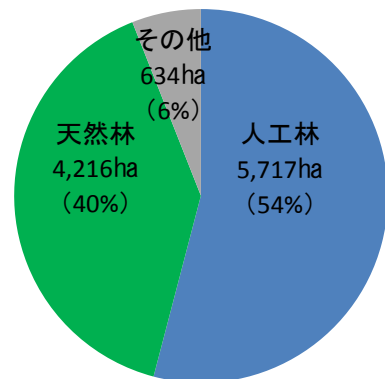
- 注) 1. 市町村面積は、平成22年度群馬県統計年鑑の数値である。
 2. 森林面積は、国有林の地域別の森林計画書、国有林面積は、地域管理経営計画書の数値である。
 3. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。



○人工林の齢級別面積



○人工林・天然林別割合 面積



人工林の齢級別では、8～12齢級(36～60年生)が多く、利用期を迎えている森林が多いことから、計画的な間伐と主伐を実施する必要があります。

(参考2)機能類型

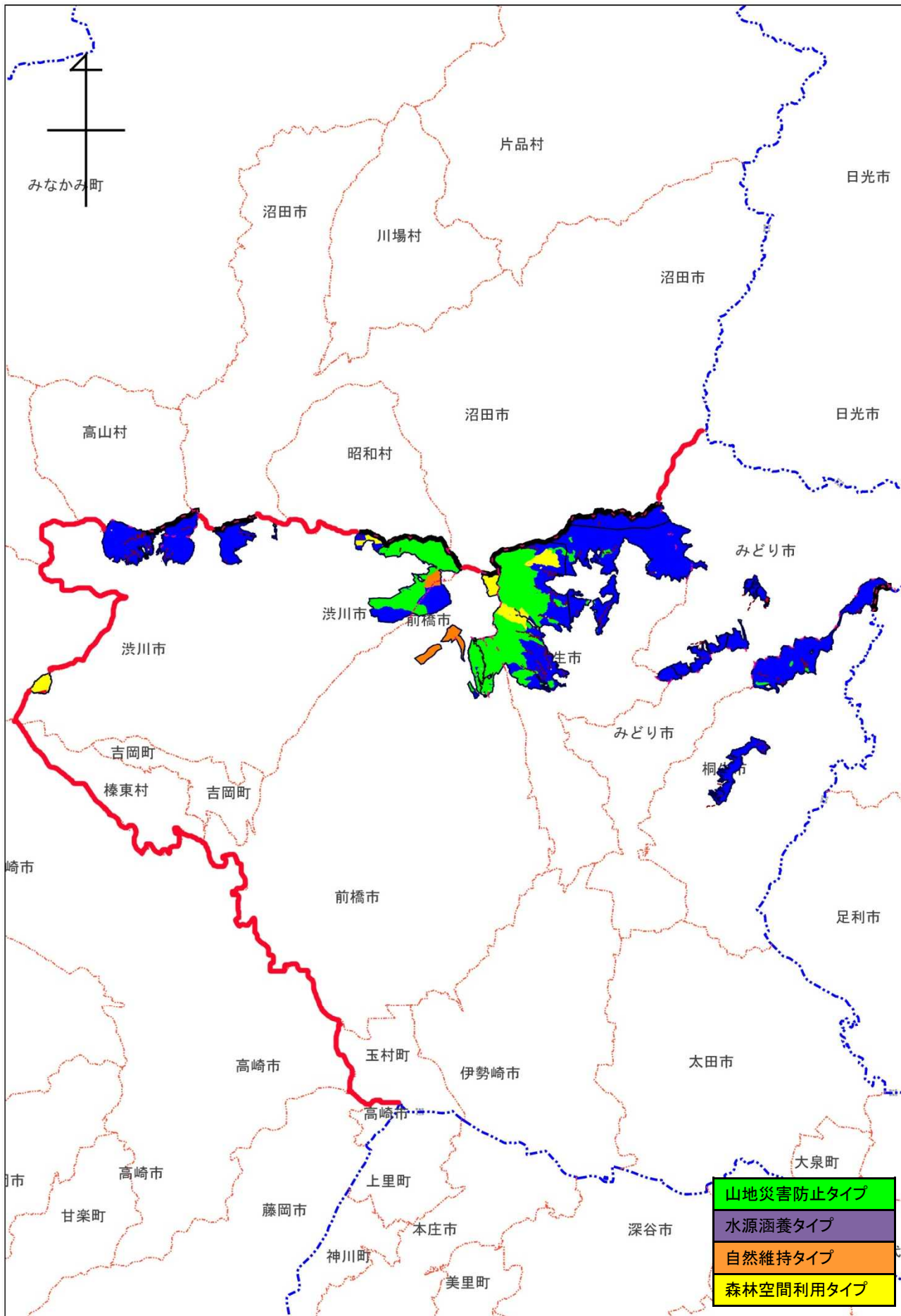
機能類型区分について

国有林の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進することとし、それぞれの国有林を重視すべき機能に応じて下表のとおり5つのタイプに区分し、それぞれの機能を最大限発揮させるための施業を推進しています。

○機能類型区分

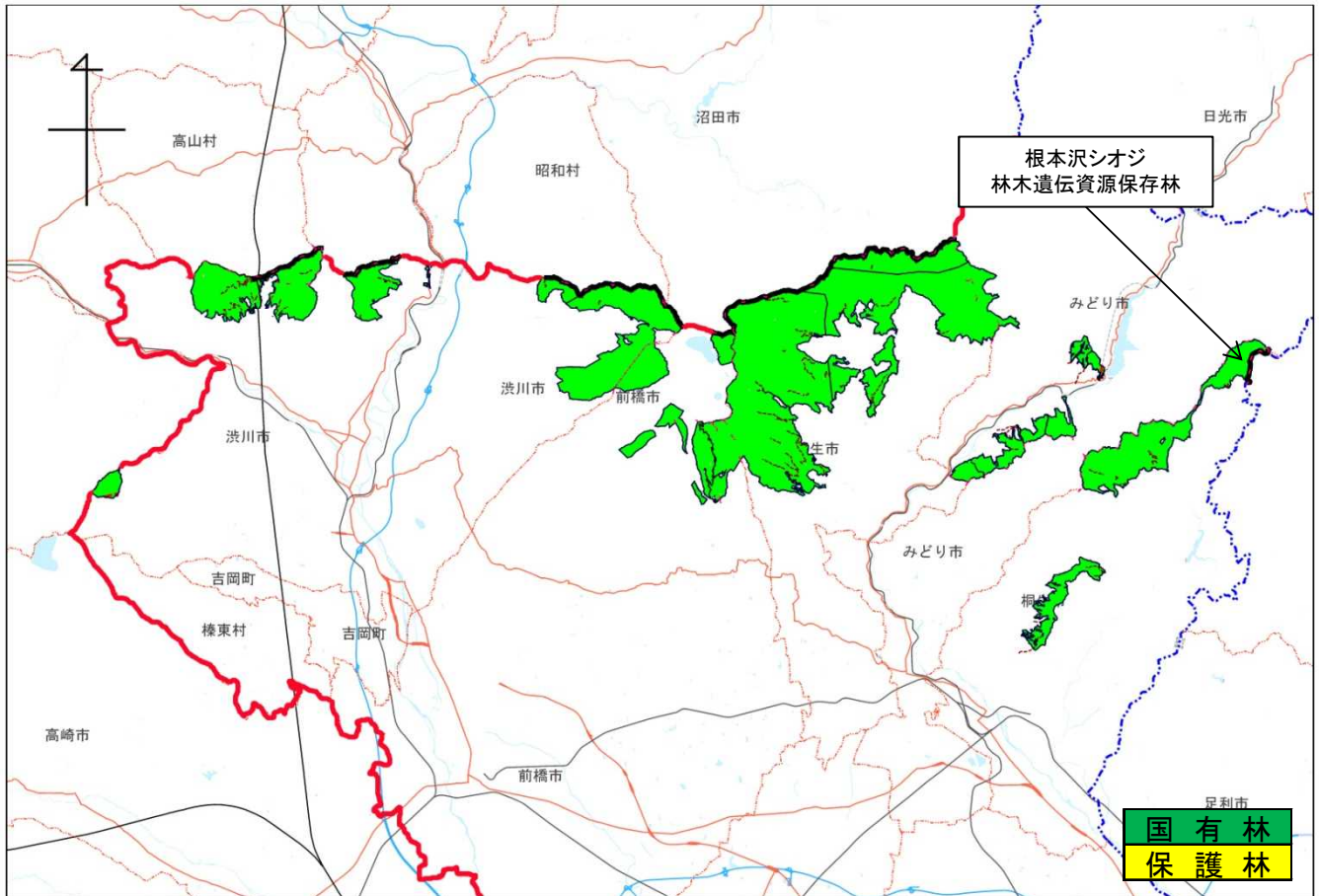
機能類型区分		機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	比率
山地災害 防止タイプ	土砂流出・ 崩壊防備エリア	山地災害防止及び土壌保全 機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生 の発達した森林の維持	26%
	気象害防備 エリア			—
自然維持タイプ		原生的な森林生態系や希少な 動植物の生息・生育する森林な ど生物多様性保全機能の発揮 を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森 林、希少な動植物の生息・生育 に適した森林の維持	2%
森林空間利用タイプ		保健、レクリエーション、文化機 能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形 態に応じた多様な森林の維持・ 造成	5%
快適環境形成タイプ		快適な環境の形成の機能の発 揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵 抗性がある樹種から構成される 森林の維持	—
水源涵養 ^{かん} タイプ		水源涵養機能の発揮を第一と すべき森林	人工林の間伐や伐期の長期 化、広葉樹の導入による育成 複層林への誘導等を推進し、森 林資源の有効活用にも配慮	67%

機能類型位置図



(参考3)保護林

区分	目的	箇所数	面積 (ha)
保護林 林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を森林生態系内に保存することを目的としています。	1	21



保護林

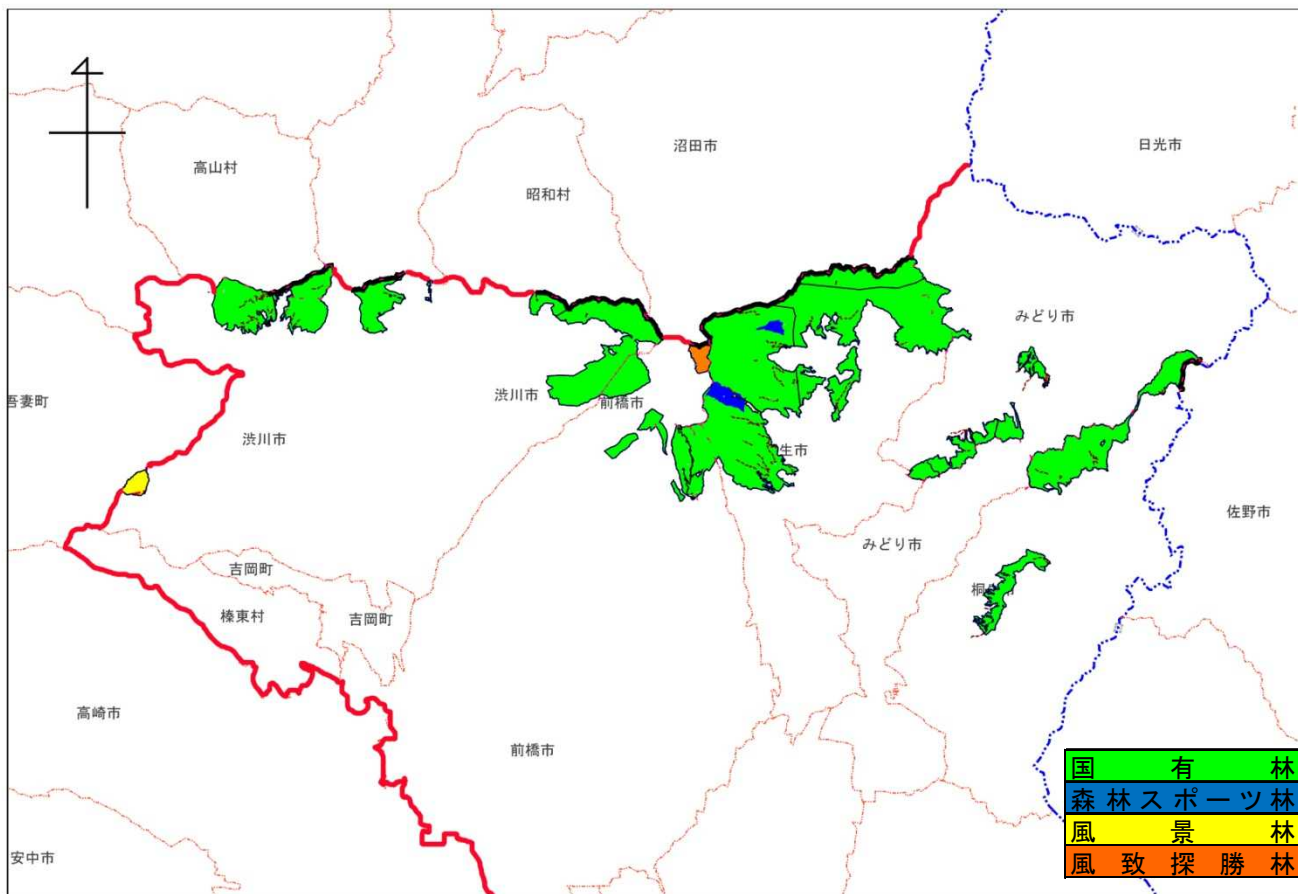
名称	面積 (ha)
林木遺伝資源保存林	21
根本沢シオジ	21



根本沢シオジ林木遺伝資源保存林(桐生市)

(参考4)レクリエーションの森

種類	内容	箇所数	面積 (ha)
森林スポーツ林	森林とふれあいながらスポーツを楽しめる森林です。キャンプ、フィールドアスレチック、サイクリングなど、アウトドアライフを楽しむことができます。	2	200
風景林	名所、旧跡等と一体となって景勝地を形作ったり、展望台等から眺望される美しい森林です。	1	102
風致探勝林	山岳、湖沼、渓谷等が一体となった美しい自然景観を楽しめる森林で、遊歩道等を散策し、多様な樹木や四季折々の自然の織りなす彩りを味わえます。	1	98



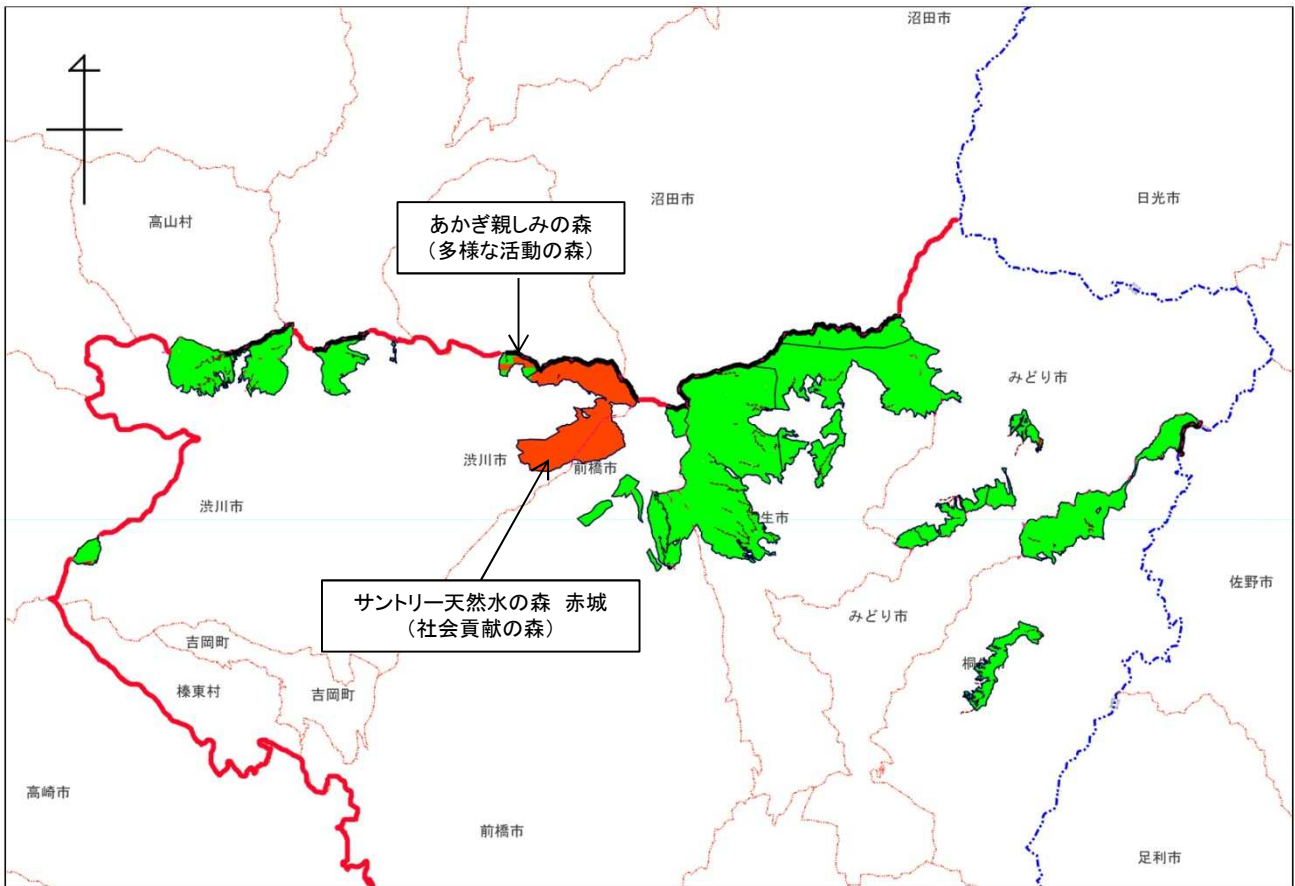
名称	面積 (ha)
花見ヶ原森林スポーツ林	55
利平茶屋森林スポーツ林	145
五万石山風景林	102
赤城山風致探勝林	98



花見ヶ原森林スポーツ林(桐生市)

(参考5) 国民参加の森林づくり

種 類	内 容	箇所数	面積 (ha)
社会貢献の森	企業の社会的責任(CSR)活動等を目的とした森林整備を実施するフィールドを提供しています。	1	1,299
多様な活動の森	古道等のトレイルの整備・維持管理、美化活動、自然観察、自然環境調査等の活動ができる場としてフィールドを提供しています。	1	44



社会貢献の森における活動の様子(サントリー天然水の森 赤城
(渋川市))